

## 第10期生からのメッセージ

### **普通科** 上口琉加さん（進学：国立・四年制大学）

高校進学を考えた時、大学に進学しようと考えた私は普通科を選びました。薩摩中央高校は少人数で先生に質問もしやすく、とても勉強しやすい環境でした。

3年間で一番頑張ったことは、部活動と勉強の両立でした。毎日の課外授業や長期休みの補習をこなしながら部活動にも全力で取り組み、充実した日々を過ごすことができました。また、生徒会にも所属し、行事の運営や地域貢献にも取り組みました。この3年間、さまざまな経験ができ、いろいろな面で成長することができました。

卒業後、私は鹿児島大学水産学部に進学します。海洋生物の栄養素などを研究し、健康食品や医薬品の開発に携わりたいと思っています。大学という新たな環境でも自分らしく過ごし、たくさんの経験を重ねて日々成長できるよう努力していこうと思います。

### **普通科** 池田桃香さん（進学：国立・看護専門学校）

私は将来看護師になりたいと思っており、文武両道を目指して普通科を選びました。普通科は朝課外や長期休業中の課外授業などもあり大変でしたが、クラスの皆で頑張ってきました。

3年間で一番大変だったことは、勉強と部活動の両立でした。部活動はバレーボール部に所属していました。部活動をして家に帰った後、どんなに疲れていても勉強をするようにしていました。課外も休まず、継続して勉強に取り組みました。また、検定にも積極的に取り組み、実用英語検定2級を取得しました。

卒業後、私は独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校に進学します。これまでとは違い、病院での実習などもあり大変になると思いますが、仲間と切磋琢磨して頑張っていきたいと思っています。

## **生物生産科** 下田志歩さん（進学：私立・幼児教育系短期大学）

私は姉が本校の卒業生で、姉から学校生活の様子を聞き、私もこの学校で学びたいと思って入学しました。

3年間で一番大変だったのは、農業技術検定です。初級・中級・上級があり、中級までは必ず取得しなければいけなくて、年に数回しかない検定なので一発合格を目指して前々から勉強を頑張りました。見事に初級も中級も一発で合格することができました。

卒業後、私は第一幼児教育短期大学に進学します。幼い頃からの夢を叶える為に、一生懸命頑張りたいと思います。そして、本校で学んだことを、将来子どもに伝えていけたらいいなと思います。

## **生物生産科** 大園英理香さん（就職：農業協同組合）

私は地元の高校ということで薩摩中央高校の生物生産科を選びましたが、その時はどのようなことを学ぶのかはよくわかりませんでした。

資格を取得したいと思って挑戦したのが、乙4類危険物取扱者資格です。何回も挑戦しましたがダメでした。3年生の時、熊本地震の影響で、大分での試験が延期になったことに気がつきました。「今度は合格するかも。運も合格に影響する。」という父の言葉に、あきらめかけていた自分の気持ちに元気が出て、大分で受験しました。試験後に父から「いい顔をしているよ。ひょっとしたら合格かも。」と言われてうれしく思いました。数日後に、インターネットで自分の受験番号が合格欄に載っていたのを見つけた時は涙が出そうになりました。その後に届いた合格通知を父に見せると、「もっと頑張らないといけなかった。今回の結果は運も影響。でも合格は合格。」と言われました。いつも父から聞いていた「国家試験にひとつでも合格したら見方が変わる。」という言葉の意味が少しわかったような気がしました。

卒業後、私はJA北さつま農業協同組合に就職します。就職した後は、いろいろな資格に挑戦しながら、先輩達とコミュニケーションを図り、できるだけ早く職場に慣れて役に立てるように頑張っていきたいと思います。また、地域活動にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

## **農業工学科** 東村雅人さん（進学：農業大学校）

私は、幼い頃から祖父母の農業の手伝いをしていく中で、自分も農業をやりたいと思いました。その中で、小学校の時に母の母校でもあった薩摩中央高校を紹介され、この学校なら自分の好きな農業を学ぶことができると思い、進学の時には迷いなく薩摩中央高校を選びました。

薩摩中央高校への進学が決まった時には、もう3年後の県立農業大学校への進学も決めていたので、部活動も一生懸命やりながら進学に向けての勉強も頑張りました。また、進学を優位に進めるためと、自分のスキルを高めるために、資格取得にも精一杯取り組みました。

3年間の努力の甲斐あって、県立農業大学校への進学を決めることができました。進学先でも農業に関して多くのことを学び、良き社会人になりたいと思っています。

## **農業工学科** 中原和樹さん（就職：地元企業）

私は就職したいと思う地元企業があり、その企業への就職を目指して薩摩中央高校の農業工学科を選びました。農業工学科は2年時から機械コースと農芸化学コースに分かれて、それぞれの学科で専門的なことを学んでいきます。私は就職に向けての資格取得をしたかったので旋盤やトラクター実習などがある機械コースを選びました。

農業工学科の一番の魅力は資格をたくさん取れることです。私は高校3年間で14種類の資格を取得することができました。旋盤などの国家資格をはじめ、多くの資格を取得したことで、全国農業高等学校長会が認定するアグリマイスター顕彰制度において県内で初めてのプラチナ認定を受けることができました。

卒業後は、入学前から希望していた地元企業に就職します。目標を持ち、それをかなえることができたので、仕事が始まってからも早く仕事に慣れて、仕事を任せてもらえるように頑張りたいと思います。

## **福祉科** 木場菜月希さん（進学：私立・医療系専門学校）

私は、福祉科ではさまざまな資格を取ることができ、卒業時に介護福祉士国家試験を受験できると知り、福祉科を選びました。

3年間で計13週間の福祉施設での実習に行かせていただきました。以前は人と話すことが得意ではなかった私ですが、たくさんの利用者様とお話をしたり介護をさせていただいたりする中でコミュニケーション能力を身に付けることができたと思います。

卒業後、私はまた異なる専門的な資格取得を目指して医療系の専門学校に進学します。学習面にはとても不安がありますが、不屈の精神で勉強に励んでいきたいです。また、福祉科で学んだ介護技術やコミュニケーション技術が、将来医療職として働くようになった時に私の自信になると思っています。

## **福祉科** 笹森奈々美さん（就職：地元介護職）

私は小さい頃から祖父母にとってもお世話になっていました。会った時にいつも笑顔で話しかけてくれる祖父母が大好きで、少しでも役に立ちたいと思い介護福祉士を目指すようになりました。そこで、専門的な福祉を学べる福祉科を選びました。

3年間で頑張ったのは、13週間の介護実習です。一人ひとりの利用者様に合った介助や、納得していただけるような声かけがうまくできずに利用者様に負担をかけてしまったこともありました。しかし、毎日メモをとり、予習復習を行うなど努力し続けて少しずつできるようになりました。福祉は人を笑顔に、幸せにできて、自己成長にもつながるすごく素敵なものだと感じました。

卒業後、私は県内の介護老人保健施設に就職します。在宅復帰を目指す利用者様の力になれるように、また楽しく日々を過ごしていただけるように、常に寄り添い、笑顔をたくさん届けていきたいです。